

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】令和 4 年 4 月 4 日(2022.4.4)

【公開番号】特開 2021-61255(P2021-61255A)
【公開日】令和 3 年 4 月 15 日(2021.4.15)
【年通号数】公開・登録公報 2021-018
【出願番号】特願 2021-1490(P2021-1490)
【国際特許分類】

H 0 1 R 13/24(2006.01)

10

H 0 1 R 43/16(2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/24

H 0 1 R 43/16

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 3 月 25 日(2022.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上下それぞれの接続対象を電氣的に接続するバネコンタクトであって、
第 1 平面部を有し、上側の前記接続対象に接続される接続部と、
第 1 平面部の端辺に一端が連続するように形成され、折り曲げによって二箇所以上の屈曲部を設けたバネとして形成された少なくとも二つの帯状部と、
前記帯状部それぞれの他端に連続して形成され、下側の前記接続対象に接続されるベース部と、を備え、
前記帯状部それぞれは、
前記接続部が下方に向けて押圧された際、当該押圧の荷重を均等に受けて、当該接続部が下方へ平行移動するように弾性変形することを特徴とするバネコンタクト。

30

【請求項 2】

上下それぞれの接続対象を電氣的に接続するバネコンタクトであって、
上側の前記接続対象に接続される接続部と、
前記接続部の左側に一端が連続し、折り曲げによりバネとして形成された第 1 帯状部と、
前記接続部の右側に一端が連続し、折り曲げによりバネとして形成された第 2 帯状部と、
第 1 帯状部の他端に連続する第 1 要素および第 2 帯状部の他端に連続する第 2 要素が左右に近接してなり、下側の前記接続対象に接続されるベース部と、が一枚の金属板材を折り曲げて形成され、
前記接続部が下方に向けて押圧された際、第 1 帯状部と第 2 帯状部が弾性変形しながら当該接続部が下方へ移動するように形成されると共に、
この移動に伴って、前記ベース部を形成する第 1 要素および第 2 要素が平面方向に相対的に位置ずれすることを防止する位置ずれ防止手段を設けたことを特徴とするバネコンタクト。

40